

観光ガイド

# とよはしほの国

2024 夏

**特集1**  
夜空を焦がす  
伝統の技  
豊橋発祥手筒花火

**特集2**  
とよはしまちあるき  
「ええじゃないか騒動」  
発祥の地・牟呂八幡宮



**戦国時代に  
武器として  
使われた「火薬」は  
泰安の世になるにつれ  
人々の心を魅了する  
「花火」へと。**

戦国時代が終り江戸時代に入ると徳川家康は出身地であったこの三河でのみ火薬の取り扱いを許したことから、花火の発展に繋がっていったといわれています。立ち上る黄金色の火の粉が、頭を垂れた稲穂のように見えることから、いつしか五穀豊穣を願う神事として定着しました。現在では無病息災、厄除退散なども願い、さらに結婚祝いや、子どもの誕生祝いなどでも手筒花火が奉納されます。春から秋にかけて多くの地域で手筒花火が揚げられます。特に秋、10月の第2土曜日が一番のピークです。金木犀と火薬のにおいが混ざって秋風にのってきます。豊橋らしい秋の香りです。

**豊橋の代表的なお祭り**

- 豊橋祇園祭(吉田神社)  
7月19日(金)18:30~手筒花火(境内)  
7月20日(土)18:00~打上花火(豊川河川敷)  
7月21日(日)18:00~頼朝行列・神輿渡御
- 羽田祭(羽田八幡宮)  
10月5日(土)16:00~(境内)  
10月6日(日)16:00~(松葉公園)
- 東田神明宮例祭(東田神明宮)  
10月12日(土)18:00~(境内)  
10月13日(日)18:30~(東田球場)

その他のお祭りは、  
豊橋観光コンベンション協会ホームページをご覧ください。

**手筒花火とは**

手筒花火の原型は情報伝達手段であった狼煙ともいわれています。火薬が伝わって以降、筒のようなものに火薬を詰め、煙を上げるものに変化していったそうです。手筒花火は孟宗竹という種類の竹を使います。節を抜いた竹に縄を巻き、火薬を詰めて奉納する。この一連を揚げ手自らが行う東三河地域特有の花火です。竹の切り出しから放揚までの技術は年配者(経験者)から年少者(初心者)へと継承されています。筒の中の構造は直径約5センチの噴出口から点火用の火薬、小火薬、中火薬、大火薬と4層になっており、最後に丸い「ハネ粉」を詰めて新聞紙で抑え込みます。この作業は筒を逆さにして行われます。手筒花火の点火は揚げ手と点火者との2人で行われます。点火者は、揚げ手を指導してきた年配者が必ず行います。手筒花火の技術を厳しく指導してくれた人だからこそ、安心して自分の筒に火をつけもらう。この究極の信頼関係を制作の行程で、また年月をかけて築いていくのも大切な継承事と言えます。

**手筒花火専門用語**

**放揚**

手筒花火は夜空には打ち上らない、噴出型の花火です。十数メートルにも及ぶ火柱が立ち上ります。ですから区別するために「打ち上げる」とは言わず「放揚(ほうよう)する」と言います。

**三河伝統手筒花火連合会所属団体**

- 豊橋祇園祭奉賛会
- 羽田八幡宮煙火有志会
- 福本八幡社納火保存会
- 中郷神社連合会
- 高師煙火有志連
- 芦原校区煙火会芦原連十雷
- 下地赤心社煙火保存会
- 小鷹野神明社まつり振興会
- 幸校区火火愛好会
- 東田神明宮奉煙会
- 岩田煙友会
- 橋良奉煙会
- 吉田方炎舞連合会

私は曾祖父の代から「手筒花火」を放揚する家系に生まれ、自分も花火を揚げるが、当たり前の環境でした。初めて揚げる時は、怖くて心臓がバクバクしていました。でも一度揚げれば炎の勢いと最後の「ハネ」の快感に魅了されました。先輩達にも恵まれて、どんどん花火が好きになり、地元の神社だけでなく、自費で奉納する団体に加わり、地元出身アーティストのコンサートでも揚げる貴重な体験を多くしてきました。気付けば還暦を迎えて、花火のおかげで人生に彩りが出来たと思っています。花火仲間と寛容な妻に感謝です。この先は頼もししい後輩達が引き継いでくれているので安心です。ありがとうございます。

三河伝統手筒花火連合会 佐藤年伸会長

**豊橋手筒花火カード**

三河伝統手筒花火連合会のメンバーがカードになります!よく驚かれるのですが、手筒花火を放揚している皆さんには「花火屋さん」ではありません。氏神様に五穀豊穣や無病息災などを祈って奉納するものなので、普段はそれぞれ普通に仕事をしている一般人です。手筒花火を放揚するときの姿は勇壮ですが、花火から離れると…その姿は?他にも手筒花火に関するカードがいっぱい。現在制作中です。できあがったら、ぜひコンプリートしてみてください。6月下旬頃より市内各所で配布・販売予定です。

**豊橋の手筒土産**

**家康公の花火玉**

豊橋の特産品と、家康公の花火にまつわる言い伝えを合せた豊橋土産がこの「家康公の花火玉」です。花火屋さんが本当に使用する玉皮に、火薬「星」にみたてた「國松本店」の濱納豆を詰め、手筒花火を放揚するときに着用する法被を作る「間瀬織布工場」の手ぬぐいで包みました。容器の玉皮は、お好みのマスキングテープなどで留めていただくと花火玉の模型(レプリカ)としてお部屋に飾っていただけます。

◆取扱い・問合せ=一般社団法人豊橋観光コンベンション協会 TEL.0532-54-1484

**豊橋煙火の花火模型(各種)**

花火職人さんが作る花火模型シリーズ。カラフル手筒花火のストラップや花火玉も。花火玉は普段見ることができないので、お土産として喜ばれます。

◆問合せ=豊橋煙火 TEL.0532-88-4616

**2024年  
豊橋炎の祭典  
11/2 [土]**

◆開場=15:00 ◆開演=17:30 ◆終演=19:00  
◆会場=かもめ広場少年サッカー場(豊橋市神野新田町ユノ割)  
手筒花火の祭典「豊橋炎の祭典」が会場を移してリニューアル開催します。  
観覧チケットの詳細はホームページをご覧ください。

◆イスSS	6,000円	◆車椅子A	3,500円
◆イスS	5,000円	◆カメラS	7,000円
◆イスA	3,500円	◆カメラA	4,000円
◆イスB	2,000円		

<https://www.toyohashi-cci.or.jp/event/honoo.php>

炎の祭典 検索

# とよはしまちあるき

## 「ええじゃないか騒動」発祥の地・牟呂八幡宮。

幕末の時代に思いを馳せながら豊橋の西部地区

牟呂・東脇エリアを歩いてみてください。

周りには公園がたくさんあります。夏の声を聴きながら巡ってみてください。

### ②牟呂城址

牟呂城は東西・南北ともに67mの方形館であったと推定されていますが、その遺構はこの土塁のみ。城主は鶴殿兵庫と伝えられており、「鶴殿兵庫之城」の石碑がありますが詳細は不明。16世紀初頭頃に築城され1526年まで存続したといわれています。



7月14日(日) 9:00~

■場所 / 牟呂八幡宮境内

(豊橋市牟呂町字郷社1-1)

豊橋商工会議所青年部と地元の小学生と共に「ええじゃないか騒動」を現代風に再現。御祈祷の後、顔を白塗りにした行脚隊がお札を境内で撒きます。そのお札を拾うと縁起物(景品)を授かることができます。

2024年  
6/21  
金

### ボランティアガイドと行くとよはしまちあるきツアー!

- 参加無料 ●13時・豊橋観光案内所集合(現地解散)
- 定員15名(最少催行人数3名)
- ツアー申込先 / 豊橋観光コンベンション協会 TEL.0532-54-1484

#### 老舗・甘味処コース 創業百年老舗めぐり

- 1 ヤマサ商店
- 2 魚濱商店
- 3 丸かつ岩瀬商店
- 4 東京庵本店
- 5 弘文堂
- 6 割烹旅館松栄
- 7 編写
- 8 オーテ萬年筆

\*先行・順番は変更になる場合があります。

\*7月8月9月のまちあるきツアーは暑い時期なのでお休みです。

## 「ええじゃないか騒動」発祥の地・牟呂八幡宮。

幕末の時代に思いを馳せながら豊橋の西部地区

牟呂・東脇エリアを歩いてみてください。

周りには公園がたくさんあります。夏の声を聴きながら巡ってみてください。

### ①牟呂発電所址

牟呂は東西・南北ともに67mの方形館であつたと推定されていますが、その遺構はこの土塁のみ。城主は鶴殿兵庫と伝えられており、「鶴殿兵庫之城」の石碑がありますが詳細は不明。16世紀初頭頃に築城され1526年まで存続したといわれています。



7月14日(日) 9:00~

■場所 / 牟呂八幡宮境内

(豊橋市牟呂町字郷社1-1)

豊橋商工会議所青年部と地元の小学生と共に「ええじゃないか騒動」を現代風に再現。御祈祷の後、顔を白塗りにした行脚隊がお札を境内で撒きます。そのお札を拾うと縁起物(景品)を授かることができます。

## 「ええじゃないか騒動」発祥の地・牟呂八幡宮。

幕末の時代に思いを馳せながら豊橋の西部地区

牟呂・東脇エリアを歩いてみてください。

周りには公園がたくさんあります。夏の声を聴きながら巡ってみてください。

### ②牟呂城址

牟呂城は東西・南北ともに67mの方形館であつたと推定されていますが、その遺構はこの土塁のみ。城主は鶴殿兵庫と伝えられており、「鶴殿兵庫之城」の石碑がありますが詳細は不明。16世紀初頭頃に築城され1526年まで存続したといわれています。



7月14日(日) 9:00~

■場所 / 牟呂八幡宮境内

(豊橋市牟呂町字郷社1-1)

豊橋商工会議所青年部と地元の小学生と共に「ええじゃないか騒動」を現代風に再現。御祈祷の後、顔を白塗りにした行脚隊がお札を境内で撒きます。そのお札を拾うと縁起物(景品)を授かることができます。

## 「ええじゃないか騒動」発祥の地・牟呂八幡宮。

幕末の時代に思いを馳せながら豊橋の西部地区

牟呂・東脇エリアを歩いてみてください。

周りには公園がたくさんあります。夏の声を聴きながら巡ってみてください。

### ①牟呂発電所址

牟呂は東西・南北ともに67mの方形館であつたと推定されていますが、その遺構はこの土塁のみ。城主は鶴殿兵庫と伝えられており、「鶴殿兵庫之城」の石碑がありますが詳細は不明。16世紀初頭頃に築城され1526年まで存続したといわれています。



7月14日(日) 9:00~

■場所 / 牟呂八幡宮境内

(豊橋市牟呂町字郷社1-1)

豊橋商工会議所青年部と地元の小学生と共に「ええじゃないか騒動」を現代風に再現。御祈祷の後、顔を白塗りにした行脚隊がお札を境内で撒きます。そのお札を拾うと縁起物(景品)を授かることができます。

## 「ええじゃないか騒動」発祥の地・牟呂八幡宮。

幕末の時代に思いを馳せながら豊橋の西部地区

牟呂・東脇エリアを歩いてみてください。

周りには公園がたくさんあります。夏の声を聴きながら巡ってみてください。

### ②牟呂城址

牟呂城は東西・南北ともに67mの方形館であつたと推定されていますが、その遺構はこの土塁のみ。城主は鶴殿兵庫と伝えられており、「鶴殿兵庫之城」の石碑がありますが詳細は不明。16世紀初頭頃に築城され1526年まで存続したといわれています。



7月14日(日) 9:00~

■場所 / 牟呂八幡宮境内

(豊橋市牟呂町字郷社1-1)

豊橋商工会議所青年部と地元の小学生と共に「ええじゃないか騒動」を現代風に再現。御祈祷の後、顔を白塗りにした行脚隊がお札を境内で撒きます。そのお札を拾うと縁起物(景品)を授かることができます。

## 「ええじゃないか騒動」発祥の地・牟呂八幡宮。

幕末の時代に思いを馳せながら豊橋の西部地区

牟呂・東脇エリアを歩いてみてください。

周りには公園がたくさんあります。夏の声を聴きながら巡ってみてください。

### ①牟呂発電所址

牟呂は東西・南北ともに67mの方形館であつたと推定されていますが、その遺構はこの土塁のみ。城主は鶴殿兵庫と伝えられており、「鶴殿兵庫之城」の石碑がありますが詳細は不明。16世紀初頭頃に築城され1526年まで存続したといわれています。



7月14日(日) 9:00~

■場所 / 牟呂八幡宮境内

(豊橋市牟呂町字郷社1-1)

豊橋商工会議所青年部と地元の小学生と共に「ええじゃないか騒動」を現代風に再現。御祈祷の後、顔を白塗りにした行脚隊がお札を境内で撒きます。そのお札を拾うと縁起物(景品)を授かることができます。

## 「ええじゃないか騒動」発祥の地・牟呂八幡宮。

幕末の時代に思いを馳せながら豊橋の西部地区

牟呂・東脇エリアを歩いてみてください。

周りには公園がたくさんあります。夏の声を聴きながら巡ってみてください。

### ②牟呂城址

牟呂城は東西・南北ともに67mの方形館であつたと推定されていますが、その遺構はこの土塁のみ。城主は鶴殿兵庫と伝えられており、「鶴殿兵庫之城」の石碑がありますが詳細は不明。16世紀初頭頃に築城され1526年まで存続したといわれています。



7月14日(日) 9:00~

■場所 / 牟呂八幡宮境内

(豊橋市牟呂町字郷社1-1)

豊橋商工会議所青年部と地元の小学生と共に「ええじゃないか騒動」を現代風に再現。御祈祷の後、顔を白塗りにした行脚隊がお札を境内で撒きます。そのお札を拾うと縁起物(景品)を授かることができます。

## 「ええじゃないか騒動」発祥の地・牟呂八幡宮。

幕末の時代に思いを馳せながら豊橋の西部地区

牟呂・東脇エリアを歩いてみてください。

周りには公園がたくさんあります。夏の声を聴きながら巡ってみてください。

### ①牟呂発電所址

牟呂は東西・南北ともに67mの方形館であつたと推定されていますが、その遺構はこの土塁のみ。城主は鶴殿兵庫と伝えられており、「鶴殿兵庫之城」の石碑がありますが詳細は不明。16世紀初頭頃に築城され1526年まで存続したといわれています。



7月14日(日) 9:00~

■場所 / 牟呂八幡宮境内

(豊橋市牟呂町字郷社1-1)

豊橋商工会議所青年部と地元の小学生と共に「ええじゃないか騒動」を現代風に再現。御祈祷の後、顔を白塗りにした行脚隊がお札を境内で撒きます。そのお札を拾うと縁起物(景品)を授かることができます。

## 「ええじゃないか騒動」発祥の地・牟呂八幡宮。

幕末の時代に思いを馳せながら豊橋の西部地区

牟呂・東脇エリアを歩いてみてください。

周りには公園がたくさんあります。夏の声を聴きながら巡ってみてください。

### ②牟呂城址

牟呂城は東西・南北ともに67mの方形館であつたと推定されていますが、その遺構はこの土塁のみ。城主は鶴殿兵庫と伝えられており、「鶴殿兵庫之城」の石碑がありますが詳細は不明。16世紀初頭頃に築城され1526年まで存続したといわれています。



7月14日(日) 9:00~

■場所 / 牟呂八幡宮境内

(豊橋市牟呂町字郷社1-1)

豊橋商工会議所青年部と地元の小学生と共に「ええじゃないか騒動」を現代風に再現。御祈祷の後、顔を白塗りにした行脚隊がお札を境内で撒きます。そのお札を拾うと縁起物(景品)を授かることができます。

## 「ええじゃないか騒動」発祥の地・牟呂八幡宮。

幕末の時代に思いを馳せながら豊橋の西部地区

牟呂・東脇エリアを歩いてみてください。

周りには公園がたくさんあります。夏の声を聴きながら巡ってみてください。

### ①牟呂発電所址

牟呂は東西・南北ともに67mの方形館であつたと推定されていますが、その遺構はこの土塁のみ。城主は鶴殿兵庫と伝えられており、「鶴殿兵庫之城」の石碑がありますが詳細は不明。16世紀初頭頃に築城され1526年まで存続したといわれています。



7月14日(日) 9:00~

■場所 / 牟呂八幡宮境内